

## 令和 6 年度探究型中央研修 特定課題探究研修（生徒支援探究研修） 実施要項

### 1 目 的

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」において、2020 年代を通じて実現すべき教職員の姿は「教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。その際、子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている」とも示されている。

本研修では、「社会に主体的にかかわり、変革していくような力（エージェンシー）を有する自立した大人へと児童生徒が育つように、教職員がどういう形で児童生徒を支援できるか」等、児童生徒との関わり方についての自身の向き合い方を考え、試行錯誤し実践を展開する力の向上を図ることを目的とする。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

### 4 期 間

(1) 令和 6 年 8 月 5 日（月） 9:00～17:00

(2) 令和 6 年 12 月 13 日（金） 9:00～17:00

※本研修はインターバル型研修として実施するため、参加者は全日程の参加を前提とする。

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修  
（「Zoom ミーティング」（(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ）等を使用）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

7 標準定員 50 名

### 8 参加者

(1) 参加資格

以下の者であって、学校経営、教育実践において各地域の中核としての役割が期待される者

ア 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び組織において中核としての役割が期待される教諭等

イ 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

※「第 5 次男女共同参画基本計画」（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を 25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

各都道府県教育委員会、各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属

学校を置く各国公立大学において1名程度とする。

(3) 推薦手続・推薦期限

推薦期限は、令和6年6月24日(月)とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

## 9 研修内容と研修期間中の学習活動について

内容については、別紙「日程表」のとおりとする。

本研修は、特定の教育課題について、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねながら、実践を展開していくことで、自他の価値観に気付く」探究のプロセス全体を通して、課題を探究していく力の涵養をめざす探究型研修である。

上記を踏まえ、参加者の推薦に当たっては、参加者が自主的に学習に取り組むことができる時間の確保等、参加者の研修効果を高める環境について配慮すること。

なお、詳細は別途連絡する。

## 10 事前課題

事前課題がある場合は、参加者決定時に連絡する。

## 11 研修終了後1年後アンケートの回答について

参加者は、研修終了後1年後アンケートの回答を行うこととする。(回答締切：令和8年1月9日(金))

※「研修終了後1年後アンケート」の回答方法については、別途通知する。なお、回答受付開始の詳細については、参加時に案内する。

## 12 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 本研修では、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

(4) 参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

- (5) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。

- (6) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

## 令和6年度 探究型中央研修 特定課題探究研修(生徒支援探究研修) 日程表

### 令和6年8月5日(月) オンライン開催

| 8:45    | 9:00 | 9:45                | 12:00                                           | 13:00 | 16:00                   | 17:00          |
|---------|------|---------------------|-------------------------------------------------|-------|-------------------------|----------------|
| 8月5日(月) | 受付   | 挨拶・諸連絡<br>イントロダクション | 生徒支援について現時点での自らの捉えや考え、自身の経験および生徒とのかかわり方について考える。 | 昼休憩   | 午前の活動を踏まえ、今後の実践に向けて考える。 | リフレクション<br>諸連絡 |

### 令和6年12月13日(金) オンライン開催

| 8:45      | 9:00 | 17:00                                                       |
|-----------|------|-------------------------------------------------------------|
| 12月13日(金) | 受付   | ・第1回で得た経験、気づきと第2回までの間に意識したことや変化等について、対話などを通じて学びを深める。<br>諸連絡 |

※ 参加者は全日程の参加を前提とする。

※ 昼休憩については1時間程度とし、その他適宜、休憩時間をとる。